

「京都 日本画新展 2020」実施概要

1. 運営体制

- 推薦委員（50音順、敬称略）
 - 石股 昭（奈良芸術短期大学教授）
 - 雲丹亀 利彦（京都精華大学教授）
 - 大沼 憲昭（嵯峨美術大学教授）
 - 川嶋 渉（京都市立芸術大学教授）
 - 菅原 健彦（京都造形芸術大学教授）
 - 西久松 吉雄（成安造形大学名誉教授）
 - 村居 正之（大阪芸術大学教授）
- 審査委員（50音順、敬称略）
 - 太田垣 實（美術評論家）
 - 國賀 由美子（大谷大学文学部教授）
 - 野地 耕一郎（泉屋博古館分館長）
 - 畑 智子（京都文化博物館学芸課長）
 - 森口 邦彦（友禅作家、重要無形文化財保持者）
 - 山田 諭（京都市美術館学芸課長）

2. 実施フロー

- 原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね25歳から45歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品していただきます。
 - 「京都 日本画新展」出品作品数
 - …第1回 37名、第2回 38名、第3回 37名、第4回 37名、第5回 38名
 - 「続『京都 日本画新展』」出品作品数
 - …第1回 39名、第2回 38名、第3回 38名、第4回 38名、第5回 39名
 - 「京都 日本画新展」
 - …2019 40名
- 出品作品の中から大賞1点（表彰楯と賞金）、優秀賞1～2点程度（表彰楯と賞金）、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞（賞状）を審査委員が選出します。
- 作品は美術館「えき」KYOTOでの作品展、ホテルグランヴィア京都フロントメインロビー2階等での展示のほか、JR西日本の媒体、京都新聞紙上等で紹介します。

3. <出品規定>

a.未発表の新作に限る

b.形状

- ・平面作品に限る
- ・額装、軸装のいずれかとする（屏風装、分割画面は不可）
- ・額装の場合、額縁幅は片側 70 mm以内、軸装は壁面に掛けられるものとする
- ・ガラス、アクリル板は装着不可
- ・パネルのみは不可（作品保護のため、必ず額装（仮縁可））
- ・作品を横から見て、画面が額縁より出ないこと
- ・危険防止のため、重量は壁面展示可能な作品であること

c.作品の大きさ

80号M（1455 mm× 894 mm）以上から 100号S（1620 mm×1620 mm）程度
厚みは 100 mm以内（額装を含む）

d.その他

- ・落款（署名および印）は審査の都合上、入れないこと

※作品の形状などを規定おを満たし、必要な処置の上、出品すること。展示会場内での乾燥等による
形状変化は自己責任とする

4. 作品の発表

作品の発表機会の提供を本賞の特徴とします。

【「京都 日本画新展 2020」の概要】

(1) 美術館「えき」KYOTOでの作品展

J R 京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTO で作品展を開催します。

会期：2020年1月24日～2月3日

午前10時～午後8時（最終日は午後5時閉館）

（作品展には推薦委員にもご出品いただきます）

(2) ホテルグランヴィア京都での作品展

J R 京都駅ビル内のホテルグランヴィア京都フロントメインロビー2階等で作品を
展示します。

会期：2020年2月初旬～4月中旬頃（予定）

※一定期間での展示替えを行います。推薦委員の作品は除きます。

(3) J R 西日本発行物での作品紹介

作品を J R 西日本発行のパンフレットなどで紹介します。

(4) 京都新聞紙上での作品紹介

受賞作品を中心に京都新聞の特集紙面で紹介します。